

参考資料2-1

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上のための
各機関の取組

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名： 吹田市医師会

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
吹田市医師会 高齢者対策 委員会	在宅医療研修会(入門編)	在宅医療を始めたい医師	在宅医療の実施におけるポイント、保険請求、診療録記載、在宅療養支援診療所などの届け出、訪問看護・ケアマネージャーなどの多職種との連携等について概説。居宅管理指導の請求方法・必要書類などについても説明。	計23人 医師22人 医師会立 ケアプランセンター1 人	H30.9.13
吹田市医師会 高齢者対策 委員会	在宅医療同行研修	在宅医療を始めたい医師、実際の訪問診療を体験したい医師	訪問診療に同行し、在宅医療の実際についてマンツーマンによる研修。	医師5人	H30.12～ H31.1
吹田市医師会 高齢者対策 委員会	在宅医療講演会 (在宅医療技術)	医師、訪問看護師、行政	「PEG(胃瘻)について」医療法人九嶺会 戸川医院 戸川雅樹 「在宅での胃ろうケア」吹田市医師会立訪問看護ステーション 新田美和子氏	計18人 医師11人 吹田市役所6 人、訪問看護師	H31.2.21
吹田市医師会 高齢者対策 委員会	在宅医療講演会	病院医師、医師会医師、行政	のぞみハートクリニック 岡田 健一郎 先生 演題「地域で支えていく高齢者心不全医療」	計29人 医師20人 吹田市役所・他 9人	H31.3.28

【取組みを実施して感じられる成果】

- 在宅入門編の研修(入門編講義・同行訪問)で在宅医療の知識提供と実際見学を行い、在宅医療への勧誘した。
- 在宅患者の緊急入院において在宅療養後方支援病院の活用についての申し込み・必要書類、運用方法について周知した。
- 胃瘻についての知識を提供した。
- 非がん疾患の緩和ケアとして、増加する高齢心不全患者の在宅ケア・診療について知識を得た。

【令和元年度の実施予定】

- 医療機関間の連携の検討(代理など)
- 診療所間の連携・新規開業の医療機関を中心に在宅医療参入を勧める。
- 在宅医療研修会(入門編)を引き続き実施
- 同行訪問研修を引き続き実施
- アドバンス・ケア・プランニングの周知と実施を図る。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：吹田市歯科医師会

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療部	歯科四木会	大阪府吹田保健所 吹田市(吹田市保健センター、 高齢福祉室)	歯科健診、訪問事業等について連絡、検討を行う。	各回15人程	4/12 6/14 8/9 10/11 12/13 2/14
口腔ケア センター	介護職向け口腔ケア実践 講座	介護職等	介護にかかわる職種向けに、歯科医師より口腔ケアの重要性に関する講話、歯科衛生士より実際に実施できるよう口腔ケアの実習を行った。	3回で27人	6/21 10/25 2/24
地域医療部	訪問歯科衛生士連絡会	訪問歯科衛生士	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科健康診査事業充実のため	2回で36人	7/1 1/27
地域医療部	在宅訪問歯科症例検討会	歯科医師 歯科衛生士	在宅訪問歯科の症例を検討し口腔ケアの充実を目指す。	2回で65人	10/21 3/10
地域医療部	健診説明会	歯科医師およびスタッフ	各種健診について説明 その中で訪問歯科健診についても説明	110人	3/13
地域医療部	新入会員健診事業説明会	新入会員(歯科医師)	各種健診、訪問歯科健診についても説明	5回で5人	4/4 5/25 6/4 9/10 2/12

【取組みを実施して感じられる成果】

開業している歯科医師にとって、在宅医療はまだハードルが高い分野ではあるが、会員向けの取り組みを通して、意義や重要性の理解は深まっているものと思われる。

【令和元年度の実施予定】

平成30年度と同様の事業を企画している。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：吹田市薬剤師会

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
	吹薬研修会		がんの痛みの薬物療法－WHO方式がん疼痛治療法を中心に	32人	H30.9.25
	吹薬研修会		保険薬局における医療・衛生材料の取り扱いについて	33人	H31.3.12
	吹薬研修会		在宅を考えた輸液・栄養管理について	44人	H31.3.26

【取組みを実施して感じられる成果】

在宅に対する理解が深まった。実施件数が増加した。

【令和元年度の実施予定】

今年度も在宅関連の研修会の実施を予定。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名:市立吹田市民病院

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
吹田在宅ケアネット	自宅でピンピンころりするために大切なこと	地域の医療・福祉等関係者 (吹田在宅ケアネット会員)	講師を招いての講演	49人	H30.4.21
吹田呼吸ケアを考える会	吹田呼吸ケアを考える会	地域の医療・福祉関係者	地域の訪問看護より症例発表・	27人	H30.9.27
吹田在宅ケアネット	最後まで食べるを支える	地域の医療・福祉等関係者 (吹田在宅ケアネット会員)	歯科医・管理栄養士を講師として公演	59人	H30.10.20
地域医療連携	在宅医療へのスムーズな移行	院内職員・地域の医療・福祉等関係者	講師を招いての講演 講師:おおさか往診クリニック 田村学先生	55人	H30.1.17

【取組みを実施して感じられる成果】

院内のスタッフへ意識付けの機会とはなったが、まだ在宅医療に関する認識は低い。
講演等を行うことで在宅医療の知識等得る機会となっている。

【令和元年度の実施予定】

吹田呼吸ケアを考える会(年2回予定) 吹田在宅ケアネット(年2回予定)

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：国立循環器病研究センター

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
看護部 専門医療 連携室	第5回 国循看護地域連携 学習会	近隣の病院・診療所、介護施設、訪問看護ステーション等の看護師・介護職、ケアマネージャー、当院の看護師	1) 講義：「心不全の病態と最新の治療」 「心不全緩和ケア 当院の取り組み」 「心不全患者の在宅医療」 2) 地域の担当者と講師・病院看護師との意見交換	院外 66人 院内 54人	H30.7.20 18:00～19: 30
看護部 専門医療 連携室	第6回 国循看護地域連携 学習会	近隣の病院・診療所、介護施設、訪問看護ステーション等の看護師・介護職、ケアマネージャー、当院の看護師	1) 講義：「脳血管疾患最新の治療」 「脳卒中の後遺症と 早期リハビリテーションの現状」 2) 地域の担当者と講師・病院看護師との意見交換	院外 67人 院内 66人	H30.11.16 18:00～19: 30

【取組みを実施して感じられる成果】

意見交換の場で、心不全患者の在宅医療のイメージが持てたり、脳卒中患者のリハビリテーションの重要性が理解でき、実際の事例で困っていることについて意見交換が行われ、互いの状況理解が深まった。

【令和元年度の実施予定】

看護部で「地域連携リンクナース会」を継続し、患者の退院支援を充実するため、知識を深め、情報を共有するための検討を継続していく。
今年度も、国循看護地域連携学習会を2回実施する。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：大阪大学医学部附属病院

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
保健師両福祉ネットワーク部	在宅医療に関する勉強会	看護師、薬剤師	半固形化栄養について 在宅酸素療法について 在宅注入ポンプについて(以上シリーズ)	約30人	H30.11.7 H30.12.11 H31.3.6
腎臓内科・保健医療福祉ネットワーク部	慢性腎臓病地域連携勉強会	地域の医師、看護師、薬剤師	腎臓病の基礎、在宅での腹膜透析の方法とトラブル対処法についての講演と実習	約50人	H31.1.24
保健師両福祉ネットワーク部	退院後カンファ	当院担当看護師、在宅訪問看護師、ケアマネージャー	当院退院後の患者について当院看護師と在宅における医療従事者、ケアマネージャーとの間で療養上の問題点注意点について話し合う。	4人	H31.3.1

【取組みを実施して感じられる成果】

腹膜透析の勉強会は2年前から継続的に行っており、参加者たちにおいては具体的な手技を含めて詳細な内容を研修したことにより、地域での受け入れと連携が昔に比べスムーズになった。
大学病院にいと地域医療の実際について知る機会が乏しいため在宅医療において多く使用される機器、栄養について学ぶ機会をもち、在宅医療へつなぐ際に請求する物品についての理解が深まった。また退院後カンファで直接大学病院の看護師と地域の看護師が話し合うことで、入院中には気づけなかった具体的な問題点の洗い出しができるようになった。

【令和元年度の実施予定】

在宅医療に関する勉強会
慢性腎臓病地域連携勉強会
(時期については平成30年度に準ずる)

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名: 済生会千里病院

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
患者支援センター	千里 在宅医療・緩和を考える会	豊能地域の在宅医療、介護関係者	帰りたい気持ちを支える退院調整	100人	H30.6.21
患者支援センター	千里 在宅医療・緩和を考える会	豊能地域の在宅医療、介護関係者	抗がん剤の止め時と緩和ケアの重要性	77人	H30.11.16

【取組みを実施して感じられる成果】

地域に在宅医療があるということは根付きつつあるが、それぞれの立場による違いや連携の仕組みを組み立てるまでには至っていない

【令和元年度の実施予定】

千里 在宅医療・緩和を考える会(7月、11月、2月実施) salon de Senri(9月 3月)ケアマネ、訪問看護向けのミニレクチャーと懇親会予定

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名: 済生会吹田病院

【平成30年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療支援部	第15回医療連携症例報告会	開業医・ソーシャルワーカー・看護師・連携スタッフ	地域包括ケアシステム構築に向けた済生会吹田病院の取組みについて、ICT連携の現状と未来、退院支援の現状と未来、入退院・在宅支援の現状と未来、病病連携における現状をリレー形式で発表意見交換を行った	25人	H30.9.8
	済生会吹田病院 ティータイムセミナー	近隣居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの職員 ①③吹田市JR以南・片山・岸部・豊津・江坂・南吹田地区 ②④摂津市・東淀川区東ブロック地区	①②テーマ「一人暮らしを支える」・・・事例からグループワークを通じて一緒に考える。 ③④テーマ「在宅療養を支える」・・・事例からグループワークを通じて一緒に考える。	①13人 ②12人 ③16人 ④15人	①H30.8.14 ②H30.10.23 ③H31.1.22 ④H31.3.19
看護部【認定看護師】	看護部選択研修 スキンケアスキルアップセミナー	・院内看護師 ・連携療養型病院（吹田・摂津・東淀川） ・老健施設（吹田）	①MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)を知る ②IAD(失禁関連皮膚障害)を知る ③スキン-テア(皮膚裂傷)を知る ④フットケアを知る ⑤褥瘡ハイリスクを知る	①80人②85人 ③65人(院外7人含む)④67人⑤71人(院外2人含む)	①H30.5.24 ②H30.6.28 ③H30.8.30 ④H30.10.4 ⑤H30.11.15
	特別養護老人ホーム訪問	ちくりんの里	入所患者の創傷処置・アドバイスなど		5回
	訪問看護同行訪問	①あおば訪問看護ステーション ②えのき訪問看護ステーション ③きずな訪問看護ステーション ④訪問看護ステーションやすらぎ⑤リハビリあき訪問看護ステーション	在宅患者の創傷処置・アドバイスなど		①1回 ②6回 ③1回 ④1回 ⑤3回 合計12回
	第44回母乳育児支援学習会	母乳育児支援に関わる専門家、学生など	NICUにおける低出生体重児の母乳育児支援	600人	H30.6.9～6.10
	保育器勉強会	ドレーゲル(株)	保育器使用について	45人	H31.2.21
	大阪府看護協会短期研修	大阪府看護協会主催	フィジカルアセスメント	40人	H30.10.11～10.12
	【高橋】 災害支援ナース交流会	大阪府看護協会主催 災害支援ナース登録者および興味のある者	災害支援ナース活動報告	35人	H30.11.20
	BLS講習会	地域医療従事者	BLS講習会	18人	H31.2.23
	ELNECコアカリキュラム看護師教育プログラム	大阪府済生会看護師、連携病院および訪問看護ステーション	エンド・オブ・ライフ・ケアの看護について	17人	H30.9.15～9.16
緩和ケアチーム医療研修報告会(市立豊中病院)	豊能医療圏がん診療連携(拠点)病院 緩和ケアチームおよび豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会 緩和ケア部会の医師、看護師、薬剤師、MSW等	当院の緩和ケアチームの取組み	30人	H31.1.25	

看護部【認定看護師】	PEACE緩和ケア研修会	近隣施設の医師およびコメディカル	施設で取り組む患者等への支援	32人	H31.2.16
	第40回関西ストーマ講習会		ストーマケア1	79人	H30.8.9
	救急看護		大阪府看護協会主催研修	46人	H30.8.17
	大阪府新人教育委託事業 救急看護		大阪府看護協会主催研修	41人	H30.9.27
	第1回 日本呼吸器看護研究会 NPPVセミナー			38人	H30.5.12
	第1回身体拘束ゼロ推進員研修	介護施設の看護職・介護職	認知症の倫理的問題について講義	①125人(1日目) ②125人(2日目)	①H30.7.11 ②H30.8.8
	第2回身体拘束ゼロ推進員研修	介護施設の看護職・介護職	認知症の倫理的問題について講義	①134人(1日目)	①H30.9.14
	看護職員向け認知症対応力向上研修		基礎編 認知症の講義	100人	H30.9.14
	加美北特別養護老人ホーム 施設内研修		認知症の種類と症状の適切な理解と対応法・事例紹介		H30.11.26
	病院施設内研修	皐月病院	麻疹について		H30.7.30
	高齢者施設支援	離宮千里山			H30.9.5
	高齢者施設支援	ちくりんの里			H30.11.6
	高齢者施設支援	保健所吹田保健所管内の高齢者施設	リーダー育成研修		H30.12.3
	糖尿病地域連携セミナーIn吹田	吹田近郊の開業医	済生会吹田病院で糖尿病週末短期(3日間)教育入院パスを作成した為、その取り組みについて講演	30人	H31.1.19
	糖尿病看護協会ブラッシュアップフットケア研修	中四国、九州、近畿圏の看護師	フットケアについて自施設での問題や取り組みを共有。フットケア・看護に関する講義をうけ、グループワークで問題解決策を話し会った。	40人	H31.2.23
クリティカルケア講座	大阪府内の臨床経験2年目以上の看護師	重症患者のケア実践、周術期患者の看護	40人	H30.11.9	

【取り組みを実施して感じられる成果】

* 医療連携症例報告会は毎年行っているが、今回は当院の在宅医療を含めた医療連携の現状の報告を行うことにより、他施設への病院取り組みのアピールができた。また他施設の現状と課題をきくことにより、地域医療の重要性をより感じる事ができ、他施設と意見交換をすることにより現状の課題等を発掘する機会となった

* ティータイムセミナーは例年3回程度行っている。平成30年度は事例検討を中心として、ケアマネジャーらの悩んでいることや病院に対しての期待、在宅療養の実際を聞くことで、院内の参加したスタッフの学びにもなると同時に、協働してできる支援について考え、院内での業務改善につなげている。

【令和元年度の実施予定】

医療連携症例報告会は毎年実施しているがテーマ・日時は未定。
ティータイムセミナーは今年度も2回程度開催予定だがテーマ・日程は未定。